



仲間と出会い
話したい

今月の本人 大分県支部 足立昭一さん

昨年10月号の本誌で紹介しました大分県支部の足立昭一さん（63歳）が、デイサービス利用時間中に行っている野菜販売の様子を3月7日に取材に行ってきました。

そこでは相乗効果としてうれしい成果が起こっていました。それは本人が報酬を得て働く実感と社会とのつながりができることに加え、地域の認知症理解を進めていることでした。地域の人たちは認知症を身近に感じ、本人の笑顔や行動に励まされていました。

介護サービスとして一人の利用者さんに職員が1日支援することへの是非があるかもしれません。しかし、そのサービスは認知症への理解と地域の人を元気にしています。貴重な地域貢献でした。

なお、この活動は「家族の会」が2010年に国に提出した「提言」の中の「介護サービス利用者に作業報酬を支払うことを認める」が、実現し可能となったものです。

（編集委員長 鎌田松代）

認知症の人が働くことは、地域を変える

9時過ぎにデイサービスセンター送迎車でかざぐるまに到着。すぐに玄関掃除を開始しました。

その後、かざぐるまの管理者の平ヶ倉文雄さんと野菜生産者の手島みな子さんの家に向かい、販売する野菜を手なれた様子で積み込みました。今日の野菜はブロッコリー、キャベツなどと自家製漬物で、すべて100円。

住宅地にある野菜販売の提携先「ふじみがおか健康プラザ・オレンジハート」に到着。なじみのお客さんは「お金、渡すよ」と足立さんの手のひらに数えやすいように置いてくれます。

足立さんのケアマネジャー古賀周一郎さんが実施した購入者アンケートには「明るい笑顔に心が癒されます」「顔を見ると、私も元気になるれます」「認知症の人と接す

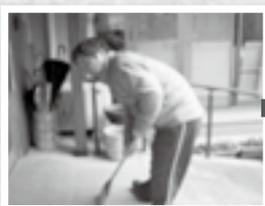
るのは難しいことではないことがわかりました」と書かれていました。

どの販売場所も足立さんの明るさで笑顔があふれ「元気にしてた?」「1週間に1回会うのが楽しみだよ」の声を聞きました。

終了後のコーヒータイムに、今日は手島さんも合流。「字が書けなくなったらどうなるの」が足立さんの最近の悩みでした。

手島さんから販売謝金を受け取り販売は終了しました。

足立さんは5年前にアルツハイマー病と診断され58歳で勤務先の大分市役所を早期退職。「社会の一員として人の役に立ちたい、働きたい」の思いを持ち続けています。



●玄関を掃除中の足立さん



●販売に出発



●販売する今日の野菜



●お金を受け取ります



●品定め中の包括職員さん



●販売が終了し休憩のコーヒーを



●謝金は貯金箱に大事に貯めています

情報
コーナー

交流の場

神奈川●5月20日(日) 午後1:00~3:30
／若年期のつどい→ほっとぽっと

富山●5月12日(土) 午後1:00~3:30/
てるてるぼうずの会→サンフォルテ
2階介護実習室

滋賀●5月9日(水) 午前10:00~午後
2:00/ピアカウンセリング→滋賀県

成人病センター職員会館2階
兵庫●4月28日(土) 午前10:30~午後
4:00/若年のつどい→神戸市勤労会
館多目的ホール

鳥取●5月27日(日) 午前11:00~午後
3:00/若年のつどい「[にっこりの会]
→地域交流センター笑い庵「笑い庵
カフェ&マルシェ」(米子市)

広島●5月12日(土) 午前11:00~午後
3:00/陽溜まりの会広島→中区地域福

社センター(広島市)
5月19日(土) 午前11:00~午後3:00/陽
溜まりの会西部→あいプラザ(廿日市市)
5月19日(土) 午前11:00~午後3:30/
木もれびの会→広島市社会福祉セン
ター

宮崎●5月14日(月) 午前11:00~午後
2:00/本人交流会「今日も語ろう会」
→宮崎県支部事務所

詳細は各支部まで